



● 草の根パートナー型

平成22年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア
2. 事業名	インドネシアの都市部住宅密集地域における住民参加型コミュニティ排水処理システム普及促進事業
3. 事業の背景と必要性	インドネシアの都市部住宅密集地域の衛生環境は劣悪であり、生活排水の適正な処理が必要である。大規模集中型の下水道はコスト負担が大きく、戸別処理（腐敗槽）では限界があるため、インドネシア政府は、コミュニティベースの集合処理を強かに推し進めようとしている。しかし、既存のコミュニティ排水処理技術はほとんどが嫌気性処理のみを行うもので、その処理水質は環境に安全に放出できるレベルにない。一方、当団体では、先行事業において、低コストで運転管理が容易でありながら、処理水質に優れた、住民参加型のコミュニティ排水処理システムを開発したが、まだそれを普及させるにいたっていない。
4. プロジェクト目標	現地に適格的で処理水質が良好な、住民参加型コミュニティ排水処理のモデルシステムが適正に配置され、普及のためのネットワークが形成される。
5. 対象地域	テガル市、プカロンガン市、スラカルタ市、タバナン県市街地の計7ヶ所以上のコミュニティ
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. モデルシステムを設置するコミュニティの住民約3,500人 2. モデルシステムを設置する地域の地方政府、ローカルNGO 3. 当該システムの普及先のコミュニティの住民 4. 水質汚濁により被害を受けている住民、農民、漁民等
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適正なコミュニティ排水処理システムの設計基準が整備される。 2. 普及拠点都市にモデルシステムが整備される。 3. 当該システムが中央ならびに地方の衛生関連政策決定担当者に周知される。 4. 適正なコミュニティ排水処理を実行・推進する人材の能力が向上する。 5. 適正な排水処理技術に関する情報が整備され、コンサルティングサービスが実施される。 6. コミュニティ排水処理実行推進者のネットワークが形成される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データ採取、調査、統合 2. 学習会、合意形成、技術選択、工事等 3. プレゼンテーション実施、ワークショップ開催 4. 技術研修コース実施 5. マニュアル製作、コンサルテーション実施 6. セミナー開催、ニュースレタ発行等
8. 実施期間	2011年10月～2016年1月（4年4ヶ月）
9. 事業費概算額	99,958千円
10. 事業の実施体制	当団体（業務従事者3名）、現地側カウンターパートであるディアン・デサ財団（業務補助員8名）が、各普及拠点都市のローカルNGO（3団体計8名）ならびに地方政府と連携し、対象コミュニティの住民の主体的参加を得て実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人APEX
2. 活動内容	インドネシアを主たる活動地域として、それぞれの地域の条件に適切な技術の開発と普及を重視しながら、排水処理、バイオマスエネルギー開発等の分野で活動している。国内では公開のセミナー、研究会、スタディーツアー等を主催している。